

# Cisco Jabber : 必須のサーバ証明書検証に関するテクニカルノート

## 目次

[概要](#)

[構内サーバ](#)

[Jabber クライアント](#)

[Cloud サービス](#)

## 概要

Cisco Jabber クライアントはすべてのサーバ証明書の必須検証にやがて Cisco コラボレーション ソリューションのセキュリティ環境を高め、クライアント および サーバ間の信頼できる接続を確立するためにデフォルトで設定されます。

## 構内サーバ

Jabber はこれらの構内サーバに対して認証を検証し始めます:

- Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )
- CUCM インスタント メッセージおよび存在 ( IM/P ) ( Cisco Unified Presence Server [CUPS] )
- Cisco Unity Connection
- Cisco WebEx Meetings Server

**注意 :** この資料にリストされている Jabber リリースを展開する前に有効なサーバ証明に関連した Cisco コラボレーション サーバを設定するようにして下さい。

各個々のサーバは信頼できる接続の各型のための認証を示します。サーバ証明が信頼されるからなければ

認証局 ( CA ) は、自己署名証明書のためのケースである、認証 クライアント OS 証明書ストアにロードされる必要があります。さもなければ、Jabber ユーザは最初に接続する場合個々のサーバ認証を受け入れるか、または低下させるためにプロンプト表示されます。

判別するためにリリースのためのサーバ管理 ドキュメントをこの変更の準備でサーバ証明を設定する方法を参考にして下さい。

## クライアントを早口に喋って下さい

この変更の概要のための目標の期日は次のとおりです:

デスクトップクライアント	日付
Jabber Mac 9.2	9月 2013 年
Jabber Windows 9.2.5	9月 2013 年
モバイルクライアントとタブレットクライアント	日付
Jabber for iPhone 9.5	10月 2013 年
Jabber for iPhone and iPad 9.6	11月 2013 年
Jabber for Android 9.6	December 2013 年

## Cloud サービス

Cisco によって提供されるクラウド サービスに必要な変更がありません。Jabber クライアントはまた公衆インターネット CA によって既に署名している WebEx Messenger および WebEx Meetings サーバのための認証を検証します。